

SIFA ニュース



NO. 120

2024 年度 春号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

鈴鹿市ベルフォンテン市 青少年相互交流事業
夏のホームステイ体験 5年ぶりに再開！！



長らくオンライン交流を余技なくされていましたがベルフォンテンへの派遣事業がようやく5年ぶりに再開致します♪
派遣生を募集致しますので、お近くに興味のある方がいらっしゃいましたら是非教えてあげて下さい。

内 容

[お知らせ]

- ベルフォンテン青少年相互交流事業
- 新事務局長あいさつ
- わいわい春まつり
- 日本語ボランティア養成講座
- [報告]
- インドネシア料理講座
- グローバルプログラム
- R6年度の事業計画

派遣期間：2024年7月29日（月）から8月6日（火）までの9日間

派遣先：ベルフォンテン市（オハイオ州）、シカゴ市（イリノイ州）

募集人数：8名（選考試験により参加者を決定します）

参加料：29万円〔渡航費の約半分は鈴鹿市より助成を受けています〕

（燃油サーチャージ上昇分及び旅券取得等に要する個人的な費用は別途必要となります。）

参加資格：鈴鹿市内に在住する中学生、高校生又は高等専門学校生（3年生まで）、もしくはそれと同年齢の者。
ただし、過去にこの事業で派遣された人は応募できません。

応募方法：参加申込書（鈴鹿国際交流協会のウェブサイトからダウンロード及び鈴鹿国際交流協会事務局、鈴鹿市近隣の中学校・高校、市役所にあります。）に必要事項を記入の上、5月8日（水）（必着）までに（公財）鈴鹿国際交流協会事務局へ郵送又は持参して下さい。

※応募者が定員に満たない場合、この事業を中止することがあります。

新事務局長あいさつ



皆さん、こんにちは。

4月1日から、事務局長としてお世話になることになりました鈴木 佳明（よしあき）です。

これまでの行政経験の中で、国際交流や多文化共生といった事業には携わったことがございませんので、いささか緊張しておりますが、職員と力を合わせて、皆さま方のお役に立てるように努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

鈴鹿国際交流フェスタ 2024

わ い わ い 春 ま つ り

みなさん、お待たせしました。今年もわいわい春まつりの季節が近づいてきました。

今年は、鈴鹿ハンター・弁天山公園に場所を戻し、コロナ禍前と同程度の規模で行います。

ステージでの様々な国の歌や踊りの発表のほか、民族衣装体験やアフリカ布を使ったくすみボタンづくり、砂絵など大人も子どもも楽しめる企画が盛りだくさんです。

また、国際屋台村には、9カ国 23ブースのお店が出店します。

ぜひ、ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ご来場ください。



と き：4月21日 10:00-15:30

ところ：鈴鹿ハンター及び弁天山公園

【ステージスケジュール】(予定)

| 演目 | グループ名 | 時間 |
|----------|------------------------------|-------------|
| オープニング | | 10:00-10:20 |
| よさこい(太鼓) | 勝山組&凜グループ | 10:20-10:45 |
| 多国籍児童の合唱 | ムジゲ | 10:50-11:10 |
| 中国舞踊 | Lilypan 舞踊芸術団& Juanピアノサロン | 11:15-11:35 |
| カポエイラ | カマラジャパン | 11:40-12:00 |
| アフリカンソング | Monicah's Bounce | 12:10-12:30 |
| モンゴル舞踊 | チャハルズ | 12:40-13:00 |
| フォルクローレ | Watay | 13:10-13:30 |
| ネパールダンス | クールグループ | 13:40-14:00 |
| 韓国伝統芸能 | 塩浜農楽隊 | 14:05-14:25 |
| フィリピンバンド | The Sun | 14:35-14:55 |
| サンバ | 鈴ともサンバ | 15:05-15:25 |
| 閉会のあいさつ | | 15:25-15:30 |



日本語ボランティア養成講座

日本語を教えることを通して在住外国人と交流しませんか。教室では、日本語で日本語を教えますので、外国語が話せなくても大丈夫です。今年は、日本語の基本的な教え方を重点的に学びます。

と き：5月18、25日、6月1、15、22日(土曜日) 13:30-16:40

(6月5、8日は、日本語教室を見学予定)

ところ：鈴鹿地域職業訓練センター・鈴鹿市男女共同参画センター

対象：出来る限り全講座に出席できる方

講師：松葉先生、吉田先生(日本語教師)

受講料：一般6,000円 賛助会員3,000円

(会員には、いつでも加入できます。)

募集人数：20名(先着順)

応募方法：5月7日(火)までに、郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入の上はがき、E-mailでSIFAまで



↑ 昨年の講座の様子

インドネシア料理講座

コロナ禍には出来ていなかった国際理解料理講座を3月24日（日）にインドネシア料理をテーマに実施しました。ジェフリーすずかの食の工房で実施し、以前より参加者（6名）は少なかったですが、アットホームな雰囲気の中、講師と参加者が交流が出来て楽しい講座になりました。



講師は、西ジャワ島のバンドゥン出身のヴィニウィボウォさんで、ナシゴレン（鶏肉・エビのチャーハン）、アヤムゴレン（色々な香辛料とココナッツが入った揚げ鶏肉）とデザートにダダール・グルン（ココナッツと黒糖を緑色の生地にも巻くクレープ）を作りました。

文化紹介は、インドネシアの伝統的なパティック（生地）を紹介して頂き、各地域毎に模様の違いがはっきりして、どれでも素敵でした。



グローバルプログラムの受入れを終えて

1月からSIFAで実施してきたJICAグローバルプログラムが終了しました。実習を終えた見正さんに鈴鹿での受け入れについて寄稿していただきましたので紹介します。

大変お世話になりました。JICAグローバルプログラム実習生、見正麻友（みしょうまゆ）です。

私はJICA海外協力隊として、今年の夏から2年間、ブラジルのサンパウロ州サン・ベルナルド・ド・カンポ市内の小学校にて環境教育をテーマに活動する予定です。

今回、中部地方ではじめて鈴鹿市でグローバルプログラムが立ち上がり、1/8～3/22まで鈴鹿国際交流協会でも活動致しました。鈴鹿の当初のテーマは「多文化共生」

でしたが、私がブラジル派遣の環境教育隊員だということから、教育にも、ブラジルにも、環境活動にも、多方面に学ぶ機会を頂きました。それにより活動の幅が広がり、協力隊に活用できる知識、経験が増え、活動内容を具体的に想像できるようになりました。

グローバルプログラムは、実習生それぞれがオンリーワンの活動が出来ます。そして、その活動は協力隊派遣、その2年後の帰国後の日本でも生きてくると確信しています。今後もJICAグローバルプログラム実習生は、ここ鈴鹿の地にやってくる予定です。今回国際交流協会はじめ濃密に関わって下さった方々、このSIFAニュースでJICAグローバルプログラム実習を知ってくださった方々も、今回以上に長く深く繋がって頂けたら嬉しいです。ありがとうございました。



今後もグローバルプログラムの受入れ継続を予定しており、その時々で鈴鹿にみえる方の派遣国や職種も様々になることが予想されます。次回は、5月から受け入れが始まります。どんな人が来ていて、どんな活動に取り組んでいるのか等、引き続き本プログラムに関心をお寄せいただくと幸いです。

★令和6年度 SIFAの事業計画★

① 地域レベルでの国際交流の促進・国際理解事業

・鈴鹿市ベルフォンテン市 青少年相互交流事業

鈴鹿市の友好都市である米国オハイオ州ベルフォンテン市へ中高生を派遣し、生徒同士の交流や、ホームステイによる市民交流を行い、両市の友好親善を図ります。

・国際理解講座

異文化理解の講座を対面もしくはオンラインで開催します。また、料理講座やパネル展を開催します。

② 多文化共生推進事業

・共生社会推進イベント(鈴鹿国際交流フェスタ 2024 わいわい春まつり)

ハンターと弁天山公園に場所を戻し、コロナ前と同等の規模で開催します(チラシ参照)

・協会ホームページ

協会が実施する事業の他、災害時の避難所や日本語教室等の情報を掲載します。また Instagram や Facebook ページでは、鈴鹿市及び近隣市町の国際交流に関する色々な情報を掲載します。

・SIFA ニュース

賛助会員及びボランティア会員向けに、協会や各会員が行う各種事業の活動状況等を広報します。

・日本語講座

市内在住外国人のニーズに応え、女性向けの教室や日本語能力試験対策の講座を開催します。

・相談窓口

日本語で送られてくる通知文書等の内容が分からない外国人市民に、事務所窓口やメール等で、文書の内容を説明します。また、心の相談をはじめとした多言語での専門相談会を行います。

・長期休み中の外国につながる子どもたちの学習支援の場づくり

夏休みや冬休みの課題を自宅で見られない家庭を対象に、宿題支援教室を開催します。市や教育委員会等と連携し、ボランティア支援者の協力をいただきながら実施します。

③ 人材の育成及び市民活動等の支援事業

・日本語ボランティアの育成

日本語学習をする外国人住民の学習環境の充実を図るため、ボランティアを育成します。今年度は、日本語学習を紐解き、外国人への日本語の教え方を重点的に学べるようにします。

・多言語災害ボランティアの育成

県や市、社協の他、多機関とも連携を深め、災害時に備えます。また甲賀市国際交流協会と広域連携パートナーシップ協定の締結を目指して普段から交流し大規模災害に備えます。

・他団体等との連携

多文化共生の活動を行っている「鈴とも」や「Sea Garden」、「MIFILCO」への参加や、JICA をはじめ他の国際協力機関・団体との事業協働などを行います。

→R6年度の事業計画・予算の詳細については、右のQRコードからご覧ください



公益財団法人鈴鹿国際交流協会(SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸1-17-5 別館第3 TEL:059-383-0724 FAX:059-383-0639

✉ sifa@mecha.ne.jp

URL: <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>